

# 一変したまち 広がる被害



水没した水海道地区上空（9月11日午後2時25分）



溢水した水に襲われた県道（9月10日午前8時20分、原宿）



新八間掘川にかかる桜橋から水海道森下町方面にかけては、数日間浸水状態が続いた (9月12日午前10時55分、水海道橋本町)



浸水した田畑から見る地域交流センター (9月10日午後0時50分、豊田)



水没し置き去られた車 (9月11日午前5時14分、新石下)



押し寄せた水の勢いで道路柵なども倒壊した (9月13日午前8時、三坂新田町)

# 一変したまち 施設の被害



小・中学校で最も被害の大きい大生小学校は2メートル以上浸水した。写真は、同小学校体育館付近（9月13日、平町）



椅子や机が散乱する市役所市民ホール  
（9月12日、水海道諏訪町）



運動会を予定していた玉小学校の校庭も泥に覆われた（9月13日、若宮戸）



泥水が流れ込んだきぬ医師会病院内（9月12日、新井木町）



石下中学校体育館の床が浸水で波打つ（9月14日、本石下）



浸水により散乱した相野谷浄水場の事務室内（9月24日、相野谷町）

# 一変したまち ライフラインへの被害



決壊現場からの濁流ですべてが押し流され、電柱もななめに（9月29日、三坂町）



決壊現場からの濁流に削り取られた農地（9月24日、三坂町）



水が引いた後、流された車やがれきが残された（9月24日、三坂町）



決壊現場からの濁流で削られた道路のアスファルト（9月12日、三坂町）

# 一変したまち 災害の影響



決壊から約1か月後の災害ごみ仮置場。連日運び込まれる災害ごみが積み上がる地域交流センター東側（10月14日、新石下）



家庭から搬入されたごみでいっぱいになり、閉鎖直前のポリテクセンター茨城前の災害ごみ仮置場（9月24日、水海道高野町）



濁流の勢いでごみが流され押し倒された道路柵（9月24日、沖新田町）



漂流物が散乱し通行困難になった道路（9月13日、収納谷）



溢水の勢いで運ばれ水田に堆積した土砂（10月2日、若宮戸）